

加してきた。しかし、食料の生産は地域的に不均等であり、生産地域と消費地域には大きな隔たりがある。食料を自給できない国や、栄養不足や飢餓に直面する人々も多い。

特にアフリカでは、食料不足の問題が深刻である。農業生産力を上回るペースで人口が増加すると、伝統的な農業では食料が十分に供給できない。輸出用農産物の生産が農業に適した土地を占有している場合もある。また、干ばつや洪水などの自然災害や、不安定な政治や内戦（地域紛争）なども、食料不足の原因である。

3rd stage 食料問題の解決に向けて

先進諸国による人道的な食料援助は、一時的な効果はあっても、発展途上国の食料問題を根本的に解決するものではない。食料援助がかえって発展途上国の農業の発展を阻害する場合もある。

食料を自給できるような体制の整備を目指して、農業技術の開発と普及を支援したり、ネリカ米（アフリカのイネに収量の多いアジアのイネを交配させて作った新しい品種で、開発には日本も参加した）のように、地域の条件に適した作物の開発と普及を支援することが重要である。食料を自給できるような農業の発展のためには政治の安定が前提となる。

今回のまとめ

- ❶ 先進国の人口は減少傾向にあるが、発展途上国では人口の増加が続いている。特にインドでは、地方の村々から大都市に多くの人々が流入して過密化が大きな問題になっている。将来、インドの人口は中国を上回ると予想される。
- ❷ 人口増加は食料不足という問題を引き起こす。特に人口増加率が目覚ましいアフリカでは、内戦や干ばつなども加わって食料不足が深刻化し、乳児の死亡率も高くなっている。政治や暮らしの安定化が求められる。
- ❸ 食料不足に苦しむ国々に、先進国による資金や食料の援助が行われている。しかし、物資の支援は、食料問題を根本的に解決することにはならない。食料が自給できるように、農地の開発や農業技術の指導などさまざまな支援が必要となる。最近では、新しく開発されたネリカ米に、大きな期待が寄せられている。